
九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 1 月 5 日 第 348 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 29 年 1 月 19 日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

・年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施中～「安全・安心」の確保に向けて～

・「訪日外国人旅行者の受入に向けた九州ブロック連絡会」を開催～受入環境の整備と課題解決に向け九州一丸となって～

・大規模災害時の支援物資物流に関する情報伝達訓練を実施～中国・四国・九州の広域エリアでの災害に強い物流を目指します～

・「バリアフリー講習会」及び「バリアフリー教室」を開催

・「公共交通事故被害者等支援フォーラム」を開催

・内航船の船員を目指しませんか？～「出前講座」で内航海運と船員の仕事をPR～

2 お知らせ

・自動車のナンバープレートや検査標章が変わります。～道路運送車両法施行規則等の一部改正について～

・街中をあなたのデザインが走る！～東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートのデザイン案募集～

3 九州運輸局ホームページアップ情報

・報道発表

・お知らせ

・更新情報

1 現場レポート

◆年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施中

～「安全・安心」の確保に向けて～

◎国土交通省では平成 28 年 12 月 10 日（土）～平成 29 年 1 月 10 日（火）にかけて、年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施しており、九州運輸局でも各地で立入点検等を実施しました。

◇内容

・1 月 5 日現在で、九州運輸局管内の鉄道、自動車、海事等の各モードの施設等 89 者に対し立入点検を行い、街頭検査も 2 カ所で実施しました。

・今後事業者から自主点検の報告と合わせて総点検の取組状況を確認し今後の取組につなげていきます。

◇九州運輸局からのメッセージ

・今年度の安全総点検期間中、九州運輸局管内では大きな事故は発生していません

が、気を抜くことなく緊張感を持って、輸送機関の「安全・安心」が確保されるよう引き続き事業者と一体になって取り組んでいきます。

◇安全総点検の様子は、九州運輸局ホームページに掲載しています。こちらからご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/bousai-q/soutenken/kekka.htm>

◆「訪日外国人旅行者の受入に向けた九州ブロック連絡会」を開催
～受入環境の整備と課題解決に向け九州一丸となって～

◎九州運輸局及び九州地方整備局並びに大阪航空局では、12月15日（木）に福岡合同庁舎新館7階海技試験場（福岡市博多区）にて九州ブロック連絡会を開催し、関係する自治体や団体、事業者と増加する訪日外国人旅行者の受入体制の整備に向けての課題や取組状況等の報告と意見交換を行いました。

◇内容

[主宰者挨拶]：佐々木 九州運輸局長、小平田 九州地方整備局長

[議事1]：訪日外国人旅行者の受入に向けた九州ブロック連絡会の課題と取組状況（伊地知 九州運輸局観光部長）

[議事2]：「九州ブロック連絡会深掘案件（案）」説明（九州運輸局・九州地方整備局・大阪航空局担当部長）

[議事3]：日本政府観光局「平成29年度プロモーション方針」（広瀬 日本政府観光局インバウンド戦略部次長）

[議事4]：九州観光の取組と熊本震災からの復興（高橋 九州観光推進機構事業本部長）

[議事5]：「観光ビジョン推進九州ブロック戦略会議（仮称）」の設置に向けて（九州ブロック連絡会事務局・嘉村 九州運輸局観光部次長）

※本連絡会は同戦略会議に改称したうえで、発展的解消することを承認。

「意見交換」

[閉会挨拶]：森島 大阪航空局次長

[構成メンバー（組織名）]：九州運輸局、九州地方整備局、大阪航空局、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、北九州市、福岡市、熊本市、（一社）九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、（一社）九州観光推進機構、（公社）日本観光振興会、日本航空（株）、全日本空輸（株）、九州旅客鉄道（株）、西日本鉄道（株）、九州鉄道協会、JR九州高速船（株）、カメラライン（株）、関釜フェリー（株）、九州バス協会、九州乗用自動車協会、九州地区レンタカー協会連合会、九州旅客船協会連合会、（一社）日本旅行業協会、（一社）全国旅行業協会、日本旅館協会、（一社）日本ホテル協会、（一社）全日本シティホテル連盟
※オブザーバー：（独）国際観光振興機構、九州農政局、九州経済産業局、九州総合通信局、九州地方環境事務所、鹿児島県（企画部）

◇九州運輸局からのメッセージ

・「訪日外国人旅行者の受入に向けた九州ブロック連絡会」は平成27年3月に設置されたもので、今回は二次交通対策や宿泊施設のインバウンド対応などの各種課題について、自治体や関係事業者等の協力を得ての受入環境の改善や、観光施設の多言語化・無料公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備の成果報告等が行われました。

・今後は、今回の連絡会で設置が承認された「観光ビジョン推進九州ブロック戦略会議」として“明日の日本を支える観光ビジョン”を具体化していくため、継続的

に進捗及び改善状況を確認しつつ、新たな課題への対応を含め、状況把握と課題解決に向けた取組を、関係する機関、自治体、団体、事業者と一丸となって実施していくこととしています。

◇九州ブロック連絡会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_348_1.pdf

◆大規模災害時の支援物資物流に関する情報伝達訓練を実施

～中国・四国・九州の広域エリアでの災害に強い物流を目指します～

◎九州運輸局では中国運輸局及び四国運輸局と連携し、12月8日（木）に福岡合同庁舎新館7階海技試験場（福岡市博多区）において、大規模災害時における支援物資ルートを想定した情報伝達訓練を実施しました。

※関連：九州運輸局メールマガジン第342号（10月6日）にて一部既報

◇内容

・「大規模災害時における円滑な支援物資物流システムの構築のための協議会」の委員を中心とした情報伝達訓練（机上訓練）。

・同協議会は九州大学大学院の星野教授を座長とし、九州、中国、四国の各地方運輸局、各県の危機管理・防災担当部署、物流関係団体、日本貨物鉄道等から選定された委員37名により構成。

・九州、中国、四国の広域エリアにおいて、多様な輸送モードによる支援物資物流における情報伝達の過程について具体的な調査を実施し、想定されるシナリオを基に関係者を中心とした訓練。

◇九州運輸局からのメッセージ

・協議会においては、今後実践的な調査及び検証を行うとともに、関係者からの助言や意見を十分に反映することにより、即応性、汎用性の高いシステム構築を目指し、年度内には報告のとりまとめを行う予定です。

◇情報伝達訓練の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_348_2.pdf

◆「バリアフリー講習会」及び「バリアフリー教室」を開催

◎九州運輸局では11月17日（木）博多ふ頭第2フェリーターミナルにて、福岡県内では初となる旅客航路従事者を対象とした「バリアフリー講習会 in 博多港」を開催しました。

また、12月5日（月）には福岡市立香椎小学校（福岡市東区千早）4年生96名を対象に、12月6日（火）には福岡市立城浜小学校（福岡市東区城浜団地）4年生18名を対象とした「バリアフリー教室」を、それぞれ同校にて開催しました。

◇内容

・九州運輸局では誰もが高齢者・障がい者等に対し「お手伝いしましょうか」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指し、市

民の方々に高齢者・障害者等の疑似・介助体験を通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識の向上を図るため、「バリアフリー教室」並びに「バリアフリー講習会」等を平成14年より各地で開催。

[バリアフリー講習会 in 博多港]

- ・(公財)九州運輸振興センターとの共催、(公財)エコロジーモビリティ財団、福岡県介護福祉士会、福岡市の協力により実施。
- ・(公財)エコモ財団講師によるバリアフリー制度及び高齢者・障がい者への接遇・介助に当たっての心構え等の講義。障がい当事者の生の声を聞くことにより、業務への気付きを促す直接対話によるディスカッション形式。
- ・介護福祉士会講師の指導のもと、ターミナル内において車いす体験及び高齢者疑似体験の体験実習も実施。

[バリアフリー教室 in 香椎小・城浜小]

- ・(公財)九州盲導犬協会、西日本鉄道(株)、福岡市、九州地方整備局の協力により実施。
- ・盲導犬協会講師の指導のもと、アイマスクを着用した視覚障がい者疑似体験及び盲導犬についての説明、PR犬による訓練の実演。
- ・西日本鉄道(株)講師によるバスのしくみの説明及び車いす・アイマスクを着用しての体験乗車も実施。

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・バリアフリー講習会・教室では、高齢者、障がい者の日常生活や社会生活における困難な状況を、受講生や児童らが、自らの問題として認識していただくことに主眼を置いています。
- ・開催後のアンケートでは、旅客航路従事者から「車いすに乗ってみて、初めて乗り心地の悪さに気付いた。車いすの介助にはもっと気を付けなければいけない。」、小学生からは「身体の不自由な人の大変さが分かったので、これから身の回りに身体の不自由な人がいたら席をかわってあげたいと思った。」などの感想が寄せられ、開催意義を確信したところです。
- ・今後もこのような取組を通じて、誰にでも自然に声かけができる「心のバリアフリー」社会の実現を目指していきます。

◇バリアフリー講習会・教室の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_348_31.pdf

◆「公共交通事故被害者等支援フォーラム」を開催

◎九州運輸局では、12月13日(火)福岡合同庁舎新館7階海技試験場にて「公共交通事故被害者等支援フォーラム」を開催しました。

◇内容

- ・国土交通省では、平成24年4月に公共交通事故被害者等支援室を設置し、公共交通事故により被害に遭われた方への支援を実施しており、安全意識の啓発や公共交通事業者による被害者等支援計画の策定をより一層薦めていくため、全国の各運輸局において公共交通事業者や業界団体、一般の方を対象とした「公共交通事故被害者等支援フォーラム」を昨年度より開催。

【公共交通事故被害者等支援フォーラム】

[講演]：「いのちの授業」（8. 12 連絡会事務局長 美谷島邦子氏）

・昭和 60 年 8 月に発生した日航ジャンボ機墜落事故でお子様を亡くされた当時の経験等を、「事業者は、利益や効率を優先するあまり、安全対策の積み重ねを置き去りにしないで。安全には終わりがありません。」などと命の大切さと何よりも安全が優先するという話を訴えての講話。

[説明]：「公共交通事故被害者支援の現状」（九州運輸局消費者行政・情報課長 中山雅浩）

・これまでの国土交通省としての取組と「公共交通事故被害等支援計画」策定の必要性について説明。

[講演]：「自動車事故被害者援護業務の制度について」（独立行政法人自動車事故対策機構福岡主管支所マネージャー 山浦康弘氏）

・自動車事故対策の専門機関としての自動車事故に遭われた場合の各種支援制度などについて講演。

◇九州運輸局からのメッセージ

・本フォーラムは、万が一、事故が起きてしまった場合に、公共交通に関わる事業者の方々に被害者支援の重要性を認識いただき、支援体制を整備・確立していただくことを念頭に、昨年度より日本各地において開催しています。

・物事に 100%はありません。万が一、事故が発生した場合には被害者の支援を行わなければなりません。昨年も軽井沢スキーバス事故のような重大な事故が起こっており、支援計画策定の重要性は増すばかりです。

・フォーラム開催後のアンケートでは「美谷島さんのお話は身にしみる内容であり、命を預かる事業者としての責任の重大さを再認識した。」「被害者等支援計画作成の必要性を認識できた。」などの感想が寄せられており、本フォーラムの開催意義を感じているところであり、今後も公共交通事故被害者等支援の取組を進めていきます。

・支援を行うには「支援計画」が必要となります。公共交通事業者で未策定の皆さま、ぜひ支援計画の策定をお願いいたします。

◇フォーラムの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_348_41.pdf

◆内航船の船員を目指しませんか？

～「出前講座」で内航海運と船員の仕事をPR～

◎鹿児島運輸支局が12月15日（木）に、鹿児島県立鹿児島水産高等学校で内航船員の人材確保を目的とした出前講座を開催し、多くの生徒が聴講しました。

◇内容

・国内の港を結んで物資や人などを運ぶ「内航海運業界」では、船を動かす船員の減少と高齢化が進み、若年船員の確保と育成対策が喫緊の課題。

・そのため、鹿児島県内唯一の船員養成機関である鹿児島水産高校の本科・専攻科の計54名（うち女子4名）の生徒を対象に、内航海運業界への就職促進を目的とした出前講座を実施。

・講座では「船員の職業とは ～基礎知識と現状～」と題して、船員に関する基礎知識や船員の魅力などをビデオや資料を使い説明。

・他にも鹿児島県内の内航海運業を経営する会社の役員からは「内航船を運航する企業が求める人材」と題した説明や、同校卒業生で現在は船長を務めている船員の生の声なども紹介。

・各生徒も非常に興味を抱いた様子で、「将来は内航船の船員になりたい」「内航船員に興味を持った」などの声も。

◇鹿児島運輸支局からのメッセージ

・当日は地元テレビ局の取材もありニュースで放送され、今回の取組を大きく PR することができました。

・この講座で、内航船員という職業が正しく理解され、未来を担う若年層の職業選択肢の一つとして認知されれば幸いです。

・同校の生徒が船員になって、船員手帳や海技免状の手続きのなどで支局の窓口を訪れてくれることを期待しています。

◇出前講座の様子は九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_348_5.pdf

2 お知らせ

◆自動車のナンバープレートや検査標章が変わります。

～道路運送車両法施行規則等の一部改正について～

図柄入りナンバープレートの導入、検査標章のデザイン変更等を行うための省令が平成 28 年 12 月 28 日に公布されました。これにより、今後、ナンバープレートの多角的な活用や、検査標章の見やすさ向上による無車検運行の防止等を推進していきます。

詳しくはこちらの国土交通省ホームページからご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha08_hh_000019.html

◆街中をあなたのデザインが走る！

～東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートのデザイン案募集～

国土交通省では、平成 29 年 10 月頃から東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートを交付することとしています。

この度、この特別仕様ナンバープレートの図柄のデザイン案を国民のみなさまから広く募集することとしましたので、お知らせいたします。

みなさまからのご応募をお待ちしています。

詳しくはこちらの国土交通省ホームページからご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha06_hh_000066.html

3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////////編集部だより //

あけましておめでとうございます。今年の元日は天候にも恵まれ、各地で初日を見ることができたのではないのでしょうか。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_348_6.pdf

編集部一同、本年も読者の皆さまのお役に立てるメルマガの配信を目指してまいります。ご愛読よろしくお願いたします。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
